

2025年1月6日

報道関係各位

2025年 年頭社長挨拶(要約)

株式会社ツムラ

株式会社ツムラ

コーポレート・コミュニケーション室

広報グループ 担当：瀬戸 純

e-mail shuzai@mail.tsumura.co.jp

## コア・コンピタンスを活かし、新たな価値創造に挑戦

2025年の干支は乙巳きのとみです。乙きのとは、新しい改革創造への抵抗力が強くてもそれを進めてゆかねばならぬという意味を持ちます。巳みは、古くからの習慣・しきたりにそのまま従う生活に終わりを告げるという意味があります。転じて、因循いんじゆんこそく 姑息こそく にケリをつけて勇敢に進む年といえます。いかに外界の抵抗力が強くとも、そのことに屈せず、弾力的に、古い習慣やありきたりの方法にケリをつけ、勇敢に澁刺はつらつ とやっけていくということです。

当社グループが長年の事業で蓄積してきた、天然物から高い品質の医薬品を造る技術やノウハウは、他社にはない強み「コア・コンピタンス」です。この強みを正しく認識し競争力の中核に据え、漢方・生薬事業、中国事業、食品などの新しい事業を展開し、新たな価値の創造に挑戦していく必要があります。

漢方製剤は天然物由来の医薬品で、複数の生薬で構成された数千種類もの低含量成分を有する多成分系複合製剤です。病名ではなく複数の症状に対応する適応症であることから、複数の疾患が複合的に現れる患者様には漢方薬が真価を発揮すると確信しています。

日本は65歳以上の人口増加により高齢化率が上昇を続け、2070年には国民の2.6人に1人が65歳以上となる社会が到来します。日本人の平均寿命と健康寿命との間には男性で9.8年、女性で12.4年の開きがあります。健康寿命とは、健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間です。日本においては健康寿命を平均寿命に近づけていくことが喫緊の課題であり、漢方治療で対応できることがあります。漢方薬を通じて、より多くの患者様の治療に貢献していきましょう。

また、個体差が大きく、標準治療が適さない患者様に対して、当社グループのコア・コンピタンスに、証の科学化や自動問診など漢方診断サポートシステム開発といった最新のデジタル技術を応用することにより、「誰一人取り残さない」個別化漢方治療を実現させていきましょう。

中国事業もヘルスケア事業も「多角化」レベルではなく、会社を支えている大黒柱の漢方事業をさらに太くしながら、第2、第3の「柱」として事業基盤を構築し、事業の「多柱化」を目指します。コア・コンピタンスをより強固なものとし、医療用漢方製剤のリーディングカンパニーとして成長を続けるとともに多柱化を推し進めていくためにも、漢方製剤の研究のみならず、生薬ベースの医薬品や薬食同源コンセプトでの食品・健康食品などの開発がますます重要となってきます。やるべきか、やらざるべきか、正しいか、正しくないかはTSUMURA-DNA Pyramidのプリンシプル・パーパス・基本理念で適切に判断し、「100年続く事業を必ず創る」という覚悟で取り組んでいきます。

今年は、「TSUMURA VISION “Cho-WA” 2031」実現に向けた第1期中期経営計画が終了し、第2期中期経営計画の達成に向けた新たな歩みを始める重要な年となります。外部環境の影響が強くても、そのことに負けないように、伝統を重んじながらも、昔からの習慣や方法にこだわることなく、革新し続けていけるよう全力を尽くしていきましょう。

以上